

**ESD 推進ネットワーク全国フォーラム 2018**  
持続可能な開発目標  
 SDGs を地域で達成していくための人づくり：地域 ESD 拠点の可能性  
 平成 30 年 11 月 30 日（金）、12 月 1 日（土）

## 地域 ESD 拠点特別セッション

### 概要報告



■日時 平成 30 年 12 月 1 日（土）15 時 20 分～16 時 30 分

■会場 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 3 階 304

■目的

- 地域 ESD 活動推進拠点（以下、地域 ESD 拠点）同士、地域 ESD 拠点と地方センター、全国センターの顔合わせ
- ESD 推進ネットワークを担う主体としての情報共有と課題、解決策の検討

■参加者 以下のカテゴリーから、46 名が参加

- 地域 ESD 活動推進拠点（地域 ESD 拠点）の皆さん（18 団体参加）
- 企画運営委員（全国・地方）
- 地方 ESD 活動支援センター（地方センター）
- 独立行政法人国立青少年教育振興機構
- 文部科学省、環境省
- ESD 活動支援センター（全国センター）

■議事概要

1. 地域 ESD 拠点特別セッションは、全国フォーラム 2018 閉会後に、地域 ESD 拠点の任意の参加を得て、全国・地方の企画運営委員、地方 ESD 活動支援センター、全国フォーラムの共催者・主催者も参加して行われました。
2. まず、河野環境省環境情報推進室長から、地域 ESD 拠点に登録し、ESD を広め、深めるために活動している諸氏に対して、感謝の意が示されました。また、ESD による SDGs の達成、地域循環共生圏の実現のために、地域 ESD 拠点の役割に期待が大きいとのコメントを

いただきました。

3. 続いて、徳留文部科学省国際統括官付専門官から、ESD 推進ネットワークは、文部科学省と環境省が協力して、民間と共同で ESD 推進のプラットフォームをつくり、まず、学校と学校以外の地域の学びの間につながりを作っていこうという趣旨で形成されたこと、地域 ESD 拠点がその主要な構成主体であることが確認されました。
4. 次に、鈴木 ESD 活動支援センター副センター長から、本特別セッションは、(1) 地域 ESD 拠点同士、地域 ESD 拠点と地方センター、全国センターの顔合わせと、(2) ESD 推進ネットワークを担う主体としての情報共有と課題、解決策の検討を目的としており、今回初めて開催される旨、説明がありました。鈴木副センター長から、『平成 29 年度地域 ESD 拠点アンケートの結果概要（暫定版）』について、説明がありました。
5. その後、参加者は、4 人～6 人ごとにグループに分かれて、以下のテーマで意見交換を行いました。
  - ① 地域 ESD 拠点としての好事例（広報の工夫、新しい協力・連携、組織内外の変化、等）
  - ② 地域 ESD 拠点としての課題や必要な支援（地域 ESD 拠点としてやりたいことに対して求められる支援や地方センター、全国センターへの要望など）
  - ③ その他（来年の全国フォーラムで実現するとよいと思うこと等）
 意見交換のポイントは別紙のとおりです。【別紙：意見交換のポイント(抜粋)】
6. 意見交換後、参加者は他のグループの意見交換の成果を見て回ることで、成果を共有しました。
7. 最後に、阿部 ESD 活動支援センター長から、ますます明らかになる地域の課題に対応し、解決策を探っていくために、学び合いを続けましょうとコメントがありました。



## 【別紙：意見交換のポイント（抜粋）】

\*当日、各グループ作成された模造紙や意見交換から作成しました。①②内グルーピングとその見出しは、全国 ESD 活動支援センターによるものです。

## ① 好事例（広報の工夫、新しい協力・連携、組織内外の変化、等）

地域 ESD 拠点になったことによる効果

- ブランド力・信用度アップした。
- 「ESD を支援する」ことを組織として表明することで、組織の視野と活動領域が広がった。
- 発信力が強化された。
- 地域 ESD 拠点となったことで学校からの訪問が増加した。
- 地域の ESD の担い手として可視化された。

地域 ESD 拠点になっての新たな活動

- 既存の事業を ESD 的に展開するようになった。
- 地方自治体の環境プログラムと協力関係ができた。
- 環境分野以外にネットワークを拡大した。
- 地方センターの支援を得て自治体や国の委託業務・補助金が獲得できた。
- 他大学に地域 ESD 拠点登録を働きかけた。

## ② 地域 ESD 拠点としての課題や必要な支援（地域 ESD 拠点としてやりたいことに対して求められる支援や地方センター、全国センターへの要望など）

課題

- ESD の知名度向上
- 地域 ESD 拠点、ESD 活動支援センター知名度向上
- 地域 ESD 拠点の「メリット」の明確化
- 地域 ESD 拠点の「ブランド化」
- 地域 ESD 拠点の数が少ない。
- なにをもって「ESD 活動」とするか不明確。
- 個々の活動を振り返る場が少ない。
- スタッフの理解、スタッフの誇りの醸成
- 人集め・金集め
- 学習指導要領に「ESD」をよりしっかり位置づけ

提案

- 社会教育主事研修に ESD を導入すべき
- 地域での温暖化防止活動推進センター、国立公園ビジターセンターとの連携
- 地域 ESD 拠点を活用した教員の研修旅行・スタディツアー
- 活動者の増加、活動の活発化
- 地域内の他の組織との連携による広報活動
- 多くの企業が地域 ESD 拠点に
- 生涯学習としての ESD 強化
- ESD 企業分科会の設立・運営／企業と ESD 協働イノベーション
- 政策的支援について文部科学省・環境省との対話機会の増強

必要な支援（全国・地方 ESD 活動支援センターから）

- 情報提供
- 地域 ESD 拠点のマッピングなど地域 ESD 拠点の「見える化」
- 「ESD 活動の目安」づくり
- 誘い・巻き込みに使える「キャッチコピー」
- ブロック別に地域 ESD 拠点を分断するのではなく、分野などによって、ブロックを超えてつながれる機会をつくる。
- 欲しくなるような「地域 ESD 拠点」プレートの提供
- 全国フォーラムのような場

### ③ その他

次回の全国フォーラム

- 企業が参加しやすいテーマ、分科会（企業内研修など）企業関係者の参加を促進する。
- 企業団体と共催する。
- SDGs をもっと前面に出す。